

「グアムでの感動」

山内 咲希

私は、今回が初めての海外でとてもわくわくし、不安もありました。

日本とはまったく違った環境で、日本語も通じない、初めて会う人たちと生活することに、本当にときどきしてました。飛行機の中ではそのときどきが最高潮に達しました。

でも、飛行機を降りてホストファミリーに温かく迎えられとても安心しました。

初めに恋人岬【TWO LOVERS POINT】に皆で行きました。初めてグアムの海を生で見てとても感動しました。とても青くて遠くまで続いていて、柏では決して見る事が出来ない光景でした。

次の日、私達はセントフランシス校に行きました。グアムの学校では、車かスクールバスの登校がほとんどで徒歩や自転車通学の人を見たことがありません。普通の道路でも歩いている人を見かけませんでした。

学校での一番の思い出の一つは、ホストフレンドのレイナが所属している聖歌隊の練習に一緒に参加したことです。想像していた日本のようなかたい合唱練習ではなく、ピアノを使わずアカペラで歌ったり、ココナッツの殻を楽器にしたり、自由で楽しい振り付けのある曲ばかりでした。先生が途中で新しい振り付けを足したり、みんなでハモらせたり、今までなかった本当に楽しい授業でした。初めて「ずっとこれが音楽の授業だったらいいのに」と、思いました。歌った曲のCDを見せてもらおうとセントフランシスの生徒が今まで歌ってきたものがまとめられていたCDでした。さらに、その多くが先生の生徒だと聞いて、とても驚きました。



グアムの人たちは、とても温かく、フレンドリーでした。初めて会ったときから笑顔で声をかけてくれました。校長先生は、ふざけたり遊んでいると容赦なく怒りました。が、そんな時も「心配しないで。さき達のせいじゃない。」と、言ってくれました。

ここでは書ききれないほど、多くの貴重な体験をさせていただきました。

これほど楽しく過ごせたのも、委員会の人を始め、受け入れをしてくれたホストファミリー

や快く送り出してくれた家族など多くの方々の支えがあったからです。

本当にありがとうございました。この6日間は一生涯忘れられない思い出になりました。